

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 21 日

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 南 秀幸

上場取引所 大証二部
 URL <http://www.yaginet.co.jp>
 TEL (06)6266-7332

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	90,070	△0.5	2,206	10.1	2,220	△0.4	1,224	△6.7
19年3月期第3四半期	90,503	5.9	2,003	25.2	2,228	36.9	1,311	122.8
19年3月期	122,487	—	2,308	—	2,614	—	1,447	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	145	73	—	—
19年3月期第3四半期	156	15	—	—
19年3月期	172	28	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	60,689	21,505	21,505	21,505	35.4	2,559	68	
19年3月期第3四半期	61,234	21,605	21,605	21,605	35.3	2,571	57	
19年3月期	58,167	21,216	21,216	21,216	36.5	2,525	25	

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）
業績予想につきましては、平成 19 年 11 月 7 日発表の業績予想に変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や、雇用情勢の改善などにより緩やかな回復傾向が持続したものの、原油や関連資材価格の高騰と、米国サブプライムローン問題による金融市場不安などから景気の先行きには失速懸念が広まりつつあり、消費動向は全般的に低調に推移しました。

繊維業界におきましては、盛夏までの低温や初秋の記録的な残暑、またその後の暖冬といった天候不順が季節衣料品の販売不振を招き、上昇する生産コストの価格転嫁を困難にするなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、現在進行している中期経営計画「N.Y. (NEW YAGI) 115」を基本方針として、東京市場への経営資源のシフト、中国内販及び中国以外の国とのビジネス強化、物流経費の圧縮、消費者への直販ビジネスの構築に努めてまいりました。

部門別の動向につきましては、以下の通りです。

原料部門におきましては、輸入綿糸の価格上昇と、原油高を背景とした合繊・化繊各社の本格的な値上げによる採算面の悪化から国内需要の縮小は続いておりますが、優良取引先との取り組みを進め、高級原綿使用糸や高強力糸などの差別化糸を国内外へ拡販してまいりました。

テキスタイル部門におきましても、原油価格高騰による合繊原料や原糸、染料、染色加工賃の値上げ圧力が上昇する一方で、価格転嫁は困難な状況となり厳しい環境で推移しましたが、アクリル素材の販売が好調に推移し、また、オーガニック素材をはじめとした環境対策素材の拡販に努めるとともに主力の販売戦略である「テキスタイル・プロジェクト」を推し進めてまいりました。

繊維二次製品部門におきましては、為替の動向や商品の主要生産国である中国での原材料費・人件費などの高騰が生産コストの上昇に拍車をかけ、低調な市場状況とあいまってきわめて厳しい環境で推移しましたが、企画提案から生産、物流に至る事業基盤を背景に、優良取引先との取り組みを強化し、一層の品質管理に努めるとともに物流経費などのコスト削減を進めてまいりました。

この結果、当第 3 四半期の連結業績は、売上高 90,070 百万円（前年同期比 0.5%減）、営業利益 2,206 百万円（前年同期比 10.1%増）、経常利益 2,220 百万円（前年同期比 0.4%減）、四半期純利益 1,224 百万円（前年同期比 6.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 流動資産

当第 3 四半期末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 2,838 百万円増加し、47,566 百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

(2) 固定資産

当第 3 四半期末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 315 百万円減少し、13,123 百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の減少が主な要因であります。

(3) 流動負債

当第 3 四半期末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ 2,752 百万円増加し、35,092 百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加する一方で、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

(4) 固定負債

当第 3 四半期末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ 518 百万円減少し、4,091 百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の減少に伴い、繰延税金負債が減少したことが主な要因であります。

(5) 純資産

当第 3 四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 289 百万円増加し、21,505 百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の減少に伴い、その他有価証券評価差額金が減少する一方で、利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（重要な減価償却資産の減価償却の方法）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

（返品調整引当金）

売上返品により発生する損失については、従来、損失が実現した期間の負担とする方法を採用しておりましたが、当連結会計年度より、特定得意先について個別に返品可能性及び処分可能性を勘案し、将来損失発生見込額を返品調整引当金として計上する方法に変更いたしました。

この変更は、過去の売上返品実績及びその後生じる損失発生額の把握により、特定得意先からの返品について合理的に将来損失発生見込額を見積ることが可能となったことによるものであります。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成 19 年 3 月期〕 第 3 四半期末		当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期末		増 減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	3,958,822		3,937,019		△ 21,802		3,027,764	
2. 受取手形及び売掛金	35,358,512		35,749,281		390,768		34,487,345	
3. 有価証券	171,779		172,348		568		171,891	
4. たな卸資産	6,639,147		6,794,508		155,360		6,131,206	
5. その他	1,353,027		1,270,817		△ 82,210		1,149,492	
6. 貸倒引当金	△ 481,676		△ 357,423		124,253		△ 239,253	
流動資産合計	46,999,614	76.8	47,566,552	78.4	566,937	1.2	44,728,446	76.9
II 固定資産								
(1)有形固定資産								
1. 建物及び構築物	2,456,135		2,419,468		△ 36,666		2,548,657	
2. 土地	995,662		995,662		-		995,662	
3. その他	454,320		689,646		235,325		387,570	
有形固定資産合計	3,906,118	6.4	4,104,776	6.7	198,658	5.1	3,931,889	6.8
(2)無形固定資産								
1. 電話加入権	15,347		1,597		△ 13,750		1,597	
2. その他	8,761		114,264		105,503		11,936	
無形固定資産合計	24,109	0.0	115,862	0.2	91,753	380.6	13,533	0.0
(3)投資その他の資産								
1. 投資有価証券	9,445,060		7,804,162		△ 1,640,897		8,656,561	
2. その他	1,278,372		1,728,535		450,162		1,432,195	
3. 貸倒引当金	△ 419,188		△ 630,222		△ 211,033		△ 595,369	
投資その他の資産合計	10,304,243	16.8	8,902,475	14.7	△ 1,401,768	△ 13.6	9,493,387	16.3
固定資産合計	14,234,471	23.2	13,123,114	21.6	△ 1,111,356	△ 7.8	13,438,810	23.1
資産合計	61,234,085	100.0	60,689,666	100.0	△ 544,419	△ 0.9	58,167,257	100.0

(株)ヤギ (7460) 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末〕		当四半期末 〔平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末〕		増 減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	20,959,975		20,076,632		△ 883,342		22,116,261	
2. 短期借入金	8,752,375		10,715,852		1,963,477		5,196,797	
3. 未払金	3,249,128		2,836,942		△ 412,185		3,544,420	
4. 未払法人税等	439,702		249,803		△ 189,899		667,349	
5. 賞与引当金	288,291		298,965		10,674		509,391	
6. 役員賞与引当金	-		-		-		87,800	
7. 返品調整引当金	-		159,850		159,850		-	
8. その他	918,084		754,818		△ 163,265		218,822	
流動負債合計	34,607,557	56.5	35,092,865	57.8	485,308	1.4	32,340,843	55.6
II 固定負債								
1. 退職給付引当金	706,715		583,464		△ 123,251		687,675	
2. 役員退職慰労引当金	361,200		76,000		△ 285,200		378,200	
3. その他	3,953,145		3,432,028		△ 521,117		3,544,315	
固定負債合計	5,021,061	8.2	4,091,492	6.8	△ 929,568	△ 18.5	4,610,191	7.9
負債合計	39,628,619	64.7	39,184,358	64.6	△ 444,260	△ 1.1	36,951,034	63.5
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	1,088,000	1.8	1,088,000	1.8	-		1,088,000	1.9
2. 資本剰余金	805,188	1.3	805,188	1.3	-		805,188	1.4
3. 利益剰余金	16,942,262	27.7	18,007,835	29.7	1,065,573		17,077,731	29.3
4. 自己株式	△ 1,627,487	△ 2.7	△ 1,627,873	△ 2.7	△ 385		△ 1,627,487	△ 2.8
株主資本合計	17,207,964	28.1	18,273,151	30.1	1,065,187	6.2	17,343,433	29.8
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	4,316,089	7.1	3,220,932	5.3	△ 1,095,157	△ 25.4	3,803,561	6.6
2. 繰延ヘッジ損益	73,184	0.1	6,395	0.0	△ 66,789	△ 91.3	58,318	0.1
3. 為替換算調整勘定	4,512	0.0	779	0.0	△ 3,732	△ 82.7	7,289	0.0
評価・換算差額等合計	4,393,786	7.2	3,228,107	5.3	△ 1,165,679	△ 26.5	3,869,170	6.7
III 少数株主持分	3,716	0.0	4,049	0.0	333	9.0	3,618	0.0
純資産合計	21,605,466	35.3	21,505,307	35.4	△ 100,158	△ 0.5	21,216,222	36.5
負債・純資産合計	61,234,085	100.0	60,689,666	100.0	△ 544,419	△ 0.9	58,167,257	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成 19 年 3 月期〕 第 3 四半期		当四半期 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期		増 減			(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比	
I 売上高	90,503,699	100.0	90,070,893	100.0	△ 432,806	△ 0.5	122,487,958	100.0	
II 売上原価	81,292,017	89.8	80,672,454	89.6	△ 619,562	△ 0.8	110,049,312	89.8	
売上総利益	9,211,682	10.2	9,398,438	10.4	186,755	2.0	12,438,645	10.2	
III 販売費及び一般管理費	7,208,354	8.0	7,192,064	7.9	△ 16,289	△ 0.2	10,129,902	8.3	
営業利益	2,003,327	2.2	2,206,373	2.5	203,045	10.1	2,308,743	1.9	
IV 営業外収益									
1. 受取利息	13,157		12,933		△ 224		19,255		
2. 受取配当金	64,017		114,148		50,131		65,395		
3. 為替差益	244,932		57,042		△ 187,890		368,729		
4. その他	51,982	374,090	29,392	213,517	△ 22,590	△ 160,573	78,439	531,821	
V 営業外費用									
1. 支払利息	68,317		93,748		25,431		88,355		
2. 売上割引	67,878		78,631		10,752		91,459		
3. その他	12,630	148,826	27,501	199,880	14,870	51,053	46,109	225,924	
経常利益	2,228,591	2.5	2,220,010	2.5	△ 8,581	△ 0.4	2,614,640	2.2	
VI 特別利益									
1. 固定資産売却益	21,223		-		△ 21,223		21,223		
2. 貸倒引当金戻入益	116,200	137,423	-	-	△ 116,200	△ 137,423	-	21,223	
VII 特別損失									
1. 投資有価証券評価減	-		82,411		82,411		-		
2. 関係会社投資損失	-	-	40,672	123,083	40,672	123,083	-	-	
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,366,015	2.6	2,096,926	2.3	△ 269,089	△ 11.4	2,635,863	2.2	
税金費用	1,053,937	1.1	872,360	0.9	△ 181,577	△ 17.2	1,188,412	1.0	
少数株主利益	377	0.0	455	0.0	78	20.7	280	0.0	
四半期(当期)純利益	1,311,700	1.5	1,224,111	1.4	△ 87,589	△ 6.7	1,447,170	1.2	